【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【公開番号】特開2003-198398(P2003-198398A)
【公開日】平成15年7月11日(2003.7.11)
【出願番号】特願2001-401013(P2001-401013)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｂ　 1/16
　Ｇ０８Ｂ　23/00
　Ｇ０８Ｂ　25/04
　Ｇ１０Ｋ　15/04
　Ｈ０４Ｂ　 7/26
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｂ　 1/16　　Ｍ
　Ｇ０８Ｂ　23/00　　５２０Ａ
　Ｇ０８Ｂ　25/04　　Ｈ
　Ｇ１０Ｋ　15/04　　３０２Ｆ
　Ｈ０４Ｂ　 7/26　　１０１

【手続補正書】
【提出日】平成16年6月16日(2004.6.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
　上記受信装置１の制御系は、図６に示すように構成されている。すなわち、上記受信装置１の制御回路２１は、メロディ再生専用ＩＣ２２と、固定音声再生専用ＩＣ２３とを有し、これらの再生専用ＩＣ２２，２３（報知音記憶手段）は、製造者によって製造段階において予め報知音が録音されており、使用者が報知音の再生のみ行えるものである。また、制御回路２１は、録音・再生用ＩＣ２４（報知音録音手段）も備えている。そして、上記選択スイッチ１２による選択によって、制御用ＣＰＵ２５（報知音選択制御手段）が、録音・再生用ＩＣ２４、メロディ再生専用ＩＣ２２及び固定音声再生専用ＩＣ２３並びに報知音出力切替スイッチ２６を制御して、使用者側が自由に選択することができる。なお、制御用ＣＰＵ２５は、予め各送信機３のアドレス番号と報知音識別番号とが結びついたデータが設定されており、送信機３の送信識別信号を受信することにより、その信号に合致した報知音を出力させる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３４】
　しかも、その場合、使用者が録音した報知音を出力させることができるので、予め送信機を設置する場所や利用する目的が定まっているような場合には、その場所や目的に応じた報知音を録音しておくことで、前記送信機における報知音識別番号を変更すれば、送信機からの送信の目的が、報知音を使用者が聞くだけで、すぐに理解することができ、送信機を設置する場所や利用する目的を変更することによる無用な混乱を回避することができ

る。また、使用者が利用した報知音であれば、その報知音を聞くだけで、どの場所に設置した送信機３から送信識別信号が送られてきたもすぐにわかる。